

人の体を学ぶ (臨床解剖疾病学)

《担当者名》濱田淳一 (看護福祉学部) jun1hamada@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

医療・福祉分野で活躍するためには、人体の解剖、生理、および疾患に関する基礎知識が不可欠である。「人の体を学ぶ (臨床解剖疾病学 ~)」では、正常な細胞・組織・臓器の形態と機能を学ぶとともに、どのような異常が生じて疾病につながるのかを、臓器ごとの関連性を踏まえながら系統的に学修する。本講義では、感覚器について学ぶほか、感染症・救急医療、がんなどを切り口に臓器横断的な知識の定着を目指す。

【学修目標】

代表的な感覚器の疾患に加え、これまで学んだことをもとにあらためて感染症、救急医療およびがんというくくりで、疾患の成り立ちならびに各器官系の構造と機能を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	感覚器の解剖生理と疾患1	皮膚の構造と機能、および代表的な疾患について理解する。	濱田
2	感覚器の解剖生理と疾患2	眼の構造と機能、および代表的な疾患について理解する(1)。	濱田
3	感覚器の解剖生理と疾患3	眼の構造と機能、および代表的な疾患について理解する(2)。	濱田
4	感覚器の解剖生理と疾患4	耳の構造と機能、および代表的な疾患について理解する。	濱田
5	感覚器の解剖生理と疾患5	味覚および嗅覚とそれらの異常について理解する。	濱田
6	感染症1	微生物とその感染様式・経路などを理解する。	濱田
7	感染症2	母子感染・性感染症を理解する。	濱田
8	感染症3	新興感染症・再興感染症・輸入感染症を理解する。	濱田
9	感染症4	感染予防と治療を理解する。	濱田
10	救急医療	救命処置、応急処置、災害医療を理解する。	濱田
11	がん1	発がんの機序を理解するための分子生物学を習得する。	濱田
12	がん2	発がんの要因について理解する。	濱田
13	がん3	がんの悪性化の機序を理解する。	濱田
14	がん4	がんの診断と治療について理解する。	濱田
15	がん5	がんの予防とがん教育について理解する。	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(筆記試験)100%

【教科書】

からだが見える(メディックメディア)

【参考書】

看護のための臨床病態学 改訂5版 浅野嘉延・吉山直樹(編) 南山堂

【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

【学修の準備】

- ・ 次回の授業範囲にあたる部分を教科書を読んで予習しておくこと (30分)。
- ・ 講義終了後は、配布プリントを見直すとともに復習問題がある場合は次回までに解いておくこと (30分)。

【ディプロマポリシー (学位授与方針) との関連】

DP2.人の心と体の基礎知識をもち、患者中心のケア、医療倫理の遵守などのケアの原則を踏まえ、「医療人としての視点」に立ったデータサイエンティストとしてふさわしい解決策の策定能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している